

もしもの時に備えよう！「洪水ハザードマップ」が完成

担当：排水対策課 友松（電話0979-62-9054）

市民の皆さまの安心・安全な暮らしを守るため、市内を流れる中小河川の情報を追加した最新版の洪水ハザードマップが完成しました。

「前のがあるからいいよ」……ちょっと待ってください！ 実は、これまでのマップではカバーしきれていなかった「地域の中小河川」のリスクが、今回初めて反映されたんです。

近年の大雨は、私たちの想像を超えてきます。「まさかここが」という場所が浸水する前に、大分県と中津市が総力を挙げて最新の浸水予測をまとめました。

「うちは大丈夫」と思わずに、万が一の備えとして必ずチェックしてください。

①「小さな川」のリスクも見える化！

「大きな川から離れているから安心」と思っていた方も要注意。今回のマップには、大分県が新たに調査した中津市内の身近な中小河川のデータが追加されました（赤囲み）。より生活圏に密着したリスクがわかります。

防災マップ

洪水ハザードマップ



②全世帯へお届けします

令和8年3月中に中津市の全世帯へ市報と同時に直接配布します。届いたらすぐに、家族で「避難場所」を話し合うキッカケにしてください。

③スマホひとつで、いつでも避難ルート確認

紙のマップだけでなく、WEB版（デジタルマップ）も同時にアップデート。GPS機能を使えば、今いる場所が浸水想定区域かどうか、外出先でもすぐにチェック可能です。

ハザードマップの概要

◇事業費 15,500千円（中小河川等洪水時避難行動支援事業）

◇作成内容 配布用紙版

①旧中津	3種	42,500部
②三光	2種	3,200部
③本耶馬溪	2種	3,400部
④耶馬溪	5種	3,500部
⑤山国	3種	1,400部
	合計	54,000部

ハザードマップの種類

	種類	氾濫の種類	表示内容
1	洪水に関するマップ	大雨による河川の氾濫	主たる河川における想定し得る最大規模の降雨による浸水範囲・浸水深さ
2	津波に関するマップ	津波による氾濫	想定し得る最大クラスの津波による浸水範囲・浸水深さ
3	高潮に関するマップ	高潮による氾濫	想定し得る最大規模の高潮による浸水範囲・浸水深さ
4	土砂災害ハザードマップ	大雨による土砂の氾濫	土砂災害が起こった場合の危険箇所の範囲
5	ため池ハザードマップ	地震や大雨等によるため池の氾濫	ため池が決壊したときの浸水範囲
6	内水ハザードマップ	短時間に降る大雨による内水氾濫	公共下水道区域内に1時間100mmの降雨があった場合の浸水範囲・浸水深さ
7	防災マップ	洪水・津波・土砂災害・ため池のハザードを複合的に示したマップ	
新	洪水ハザードマップ	今回作成した洪水ハザードマップは、大雨による河川の氾濫を示したもので、①洪水に関するマップに大分県が管理する中津市内の中小河川の浸水範囲・浸水深さを追加したものです。	